

**本日、「インフルエンザ注意報」を発令します。
「かからない、ひろげない」ように十分注意してください。**

平成24年第3週(1月16日~22日)の感染症発生動向調査で、インフルエンザの定点あたり患者数が20.69人(定点数/88か所、患者数/1,821人)となり、10人を超えたことから、インフルエンザ注意報を発令します。次の点に留意して、感染拡大防止に努めてください。

■今冬のインフルエンザについて

- ・季節性インフルエンザは、A/H1N1亜型(ソ連型及び平成21年に流行した新型インフルエンザと同じ型)、A/H3N2亜型(いわゆる香港型)、B型の3つの型があり、いずれも流行の可能性があります。
- ・流行しやすい年齢層は亜型によって多少異なりますが、今年も、全ての年齢の方がインフルエンザに注意する必要があります。
- ・インフルエンザ対策に当たっては、いずれの型についても同じように、特に次の点が重要です。

■かからないようにするために

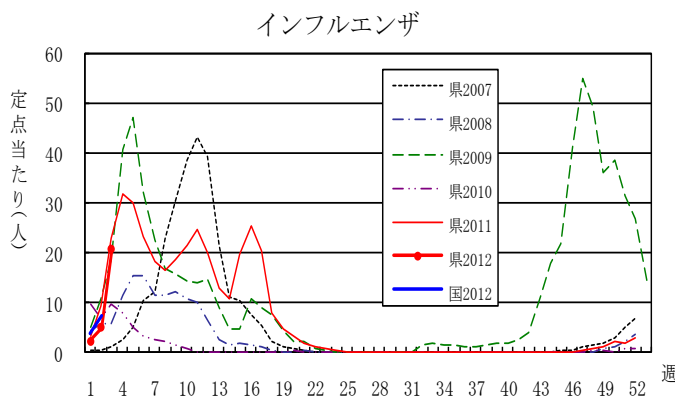
- ・手洗い、うがいをこまめに行いましょう。
- ・人混みを避けるとともに人混みに入るときにはマスクを着用しましょう。
- ・十分な栄養や睡眠により、体力や抵抗力を高めましょう。

■ひろげないようにするために

- ・発熱などの症状が見られたら、早めに休養をとり、水分や栄養を十分にとりましょう。
- ・学校や職場は早めに休みましょう。
- ・咳やくしゃみがある場合にはマスクを着用しましょう(咳エチケット)。

【発生状況(長野県感染症情報より)】

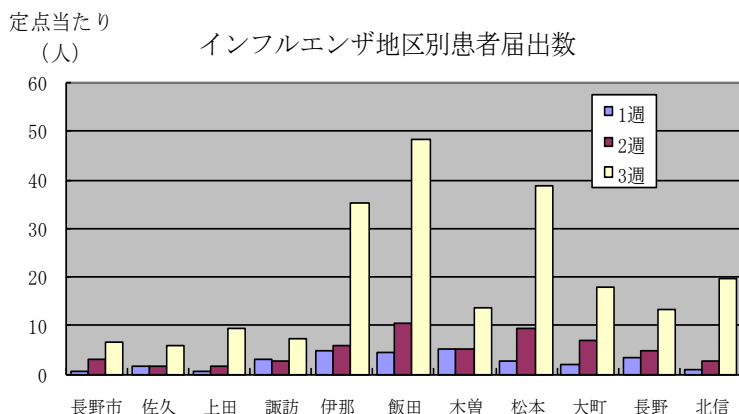
平成23年第49週(12/5~12/11)に定点あたり1人を上回っており、平成24年第3週(1/16~1/22)に定点あたり10人を上回りました。今後、感染の拡大が懸念されます。



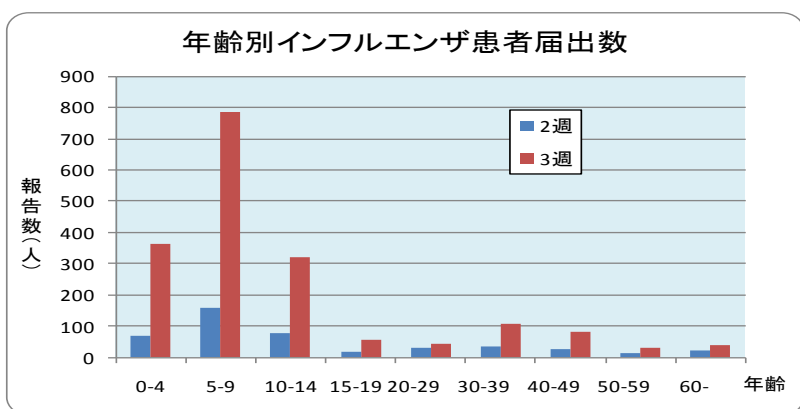
期間	1 定点あたり患者数(人)
H23 第49週(12/5~12/11)	1.16
第50週(12/12~12/18)	2.17
第51週(12/19~12/25)	1.93
第52週(12/26~1/1)	2.90
H24 第1週(1/2~1/8)	2.32
第2週(1/9~1/15)	5.07
第3週(1/16~1/22)	20.69

※「定点」: 感染症の発生動向を調査するため指定した医療機関(内科・小児科88か所)。

第3週の地域別の1定点あたり患者数は、全ての地区で第2週を上回っており、特に伊那、飯田、松本地区で患者数が多く、感染が広がっています。



地区	第3週の1定点あたり患者数(人)	地区	第2週の1定点あたり患者数(人)
飯田	48.50	飯田	10.63
松本	38.88	松本	9.31
伊那	35.25	大町	7.00
北信	19.50	伊那	5.75
大町	18.00	木曾	5.00
全県	20.69	全県	5.07

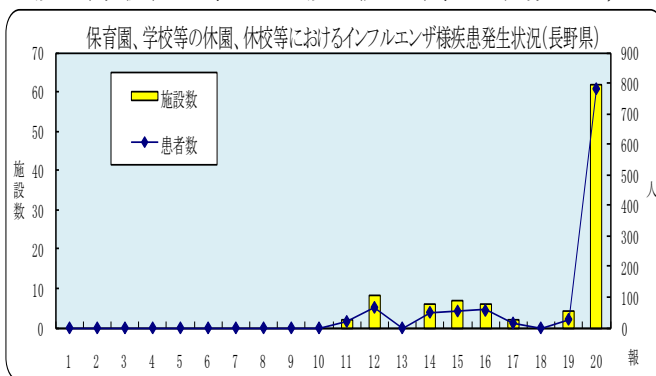


第3週の年齢別インフルエンザ患者届出数では、各年齢で第2週を上回っています。

特に、5-9歳を中心に0-14歳の間で患者数が急増しており、感染が広がっていると思われます。

【インフルエンザ様疾患による学校等の閉鎖等の状況】※1月22日現在

今シーズン(H23.9.5以降)、インフルエンザ様疾患による学年・学級閉鎖の措置を執った施設(学校)は、97施設(延べ)、患者数は1,078人です。



週	第17週	第18週	第19週	第20週
期間	12/26-1/1	1/2-8	1/9-15	1/16-22
施設数(延べ)	2	0	4	63
内訳	休校・休園	0	0	0
	学年閉鎖	1	0	0
	学級閉鎖	1	0	4
在籍者数	115	0	127	2,693
患者数	16	0	28	783

(長野市発生分を含む)

【参考：注意報の基準】

国立感染症研究所感染症情報センターでは、注意報の基準値を「保健所管内の1週間の1定点あたり患者数が10人以上の場合に発令する」と定めています。

県ではこの基準に準じて、県内の1週間の1定点あたり患者数が10人を上回った場合に、全県に「インフルエンザ注意報」を発令します。

健康福祉部 健康長寿課 感染症対策係
 (課長)小林良清 (担当)小山次男、内山紗希
 電話：026-235-7148 (直通) FAX：026-235-7170
 E-mail：kenko-choju@pref.nagano.lg.jp